≧川流域の

で的な行事と芸能



## やかげのしゅくばまつり(だいみょうぎょうれつ)

新高総早倉 矢 見梁社島敷 掛 市市市町市

井浅里笠 原口庄岡 市市町市



## ☆ この行事について

はん えい や かげじゅく まい とし がつ だい にちょうび だいみょうぎょうれつ 江戸時代、参勤交代で利用され繁栄した矢掛宿では、毎年11月の第2日曜日に大名行列が めい とう じ すがた さい げん へん せい ごう か だいみょうぎょうれつ 再現されます。約80名、当時の姿を再現・編成された豪華な大名行列が、「下にい、下にい」の声 や かげしょうがっこう しゅっぱつ との さま おく がた ひめ ぎみ ぶ ぎょうなどおも のもと町を歩きます。矢掛小学校を出発して、殿様・奥方・姫君・奉行等主だったものは本陣の中 しゅくば ひがしがわ わき ほん じん で休憩を取ります。そして、宿場の東側にある脇本陣まで練り歩きます。また、午前中には、子ど もたちによる「飛脚駅伝」が繰り広げられ、露店も多く出て、一日を通してにぎわいます。

\* かげ だいみょうぎょうれつ しょうわ ねん たいふう ごう だいさいがい みま まち かっき と この矢掛の「大名行列」は、昭和51年に、台風17号の大災害に見舞われた町に活気を取り 戻そうとして始まり、毎年開催されています。また、行列に輩を添える奥方や姫君は、広く公募 し、商店街の夏の夜市の中で行われるコンテストで選ばれます。

きゅうさん よう どう しゅく ば まち びっちゅうや かげじゅく や かげちょう 旧山陽道の宿場町「備中矢掛宿」として栄えた矢掛町には、ともに国指定重要文化財の本陣・ わき ほん じん りょうほう ほんじん わきほんじん だいみょうぎょうれつ 脇本陣が両方そろって残っており、本陣・脇本陣をバックに歩く大名行列は江戸時代にタイム スリップしたように感じられます。